

## 第12回吹田市政策会議開催結果について

日時:平成27年11月16日(月)17時～17時30分

場所:特別会議室(本庁舎高層棟4階)

政策会議構成員6名の出席

(市長、太田副市長、池田副市長、総務部長、市民生活部長、消防長)

○案 件 名	○担当及び関連する部局名
救急隊増隊について	消防本部 総務予防室総務課
○審議内容と結果	
<b>【案件概要】</b> 本市の救急件数は増加の一途であり、今後も超高齢社会の到来などにより年次的に救急件数の増加が見込まれます。また、消防力の整備指針が改正され、本市に必要な救急隊数は10隊とされていますが、現状は7隊(充足率70%)となっています。救急隊の不足は現場到着時間の遅延や救命率の低下など市民サービスに直結するため、平成29年4月から8隊目、平成30年4月から9隊目の救急隊の運用を開始し、救急救命体制の強化を図るものです。	
<b>【所管部の考え方】</b> 救急救命体制の充実強化と市民サービス及び救命率の向上を図るため、救急隊数を現行の7隊から9隊に増隊が必要であると考えます。	
<b>【審議事項】</b> 救急隊の増隊及び吹田市職員定数条例の改正について	
<b>【審議結果】</b> 消防本部総務予防室総務課より、資料に基づき審議事項の内容について説明があり、その後質疑応答を行った。  質問…増隊により現場到着時間がどのようになるかシミュレーションはできているか。 答え…過去の実績により、1隊増隊するごとに年間平均10秒程度の改善ができると予想している。また、救急隊の効率的な運用も可能となり、相乗効果もあると考える。  質問…救命率の推移などのデータはあるか。増隊により、救命率がどの程度上がるか。 答え…救命率は年度によって差があり、増隊による救命率の向上の見込みを算出することは困難。  質問…現場到着時間は交通状況の影響も受けると考えるが、カーナビ等により渋滞情報の把握はできているか。 答え…カーナビは設置している。また、これまでの経験等から、各道路の時間帯ごとの混雑状況等の傾向を把握している。  指示…本市の消防力、救急救命力について、どこを目指して進めていくのかを示しながら、今回の増隊の必要性を説明していくこと。  まとめ…本案件については承認された。平成27年12月定例会に向けて手続きを進めることとする。	